

バイオ 医療

企業

逆境を楽しもう

小原香 (富士化水工業^株 開発部門/ 出向先:戸田工業^株 創造本部 / 再出向先:京都大学 物質・細胞統合システム拠点(iCeMS) 高野G 共同研究員)

仕事の内容とやりがい

出向先である戸田工業は鉄系ナノ粒子を大量生産している世界に知られる素材メーカーです。その素材を非常に付加価値の高い医療分野へ適合させる高度な技術開発ができる京大 iCeMSにて共同研究開発に従事しています。富士化水工業・戸田工業へ就職以前は、バイオ・医療分野にて素材を使い分析・評価を行っていた立場でした。ところが、現在は、逆に素材を使えるようにする立場となり未知の分野で苦労も多いのが現実です。ただ、逆転の発想で、使う立場を理解した素材開発ができるのは京大 iCeMSには私個人しかいないことを思うと、この逆境を楽しみ、医療分野にて広く安心して使っていただける素材を提供できるように研究開発をしていこうと考えています。

進路決定のきっかけ

子どもの頃から自然や生物について興味を持っていたこともあり農学部応用生物科学科へ進学しました。その後、なぜだろうと思うと知りたくなる性格もあり大学院へ進学しました。私は学部、修士、博士と全て異なる研究室・テーマであったので様々な分野の先生や研究者の方々と接する機会を多く持てました。また、その方々から常に刺激を受け、気がつけば導かれるように研究者を目指していました。さらに研究を続けていく中で研究以外の仕事へも挑戦したくなり企業へ就職しました。

仕事と生活のバランス

結婚と同時に単身赴任の生活が始まり、私が家族と過ごせるのは月に1、2度程度です。夫や周りの理解もあり私は仕事を続けていくことができました。また、家族が出来たことでより仕事に励むようにもなりましたが、働く女性の仕事と家庭の両立や女性の単身赴任はとても大変な事だと痛感しました。そのため、仕事と家庭のバランスを図るために時間の有効活用を心がけています。仕事も家庭も充実した時間を過ごせるように時間の使い方が上手な人になりたいと考えています。

進路選択に対してのメッセージ

どのような環境であっても、まずはその場所で一生懸命に頑張ってみることが大切です。一生懸命な人の周りには同じように前を向いて頑張っている人が集まるように感じます。同じ志を持つ仲間に関わり前進を続けられれば、その場所があなたの輝く場所になるのかもしれない。また、逆境は辛く厳しいですが、辛い時こそ楽しむにはどうすればよいのかと考えると、解決策は出てくるのではないかと思います。

前列中央が筆者



＜小原香 (こはらかおり) プロフィール＞

広島県の公立高校を卒業後、佐賀大学農学部応用生物科学科、広島県立大学大学院修士課程生物生産システム研究科へ進学。さらに同大学院博士課程へ。修了後、財団法人広島市産業振興センター 先端科学技術研究所へ勤務。退職後、国立大学法人九州大学イノベーション人材養成センターの学術研究員になり、同時期に結婚。民間企業への就職を希望し、富士化水工業株式会社へ入社と同時に親会社である戸田工業株式会社創造本部へ出向・京都大学物質・細胞統合システム拠点(iCeMS)高野Gへ再出向、現在に至る。